

地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所環境管理マニュアル

地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所環境方針に基づき、以下のとおり、環境への負荷の低減に取り組むものとする。

実施内容

1 エネルギー使用量削減（節電）

以下に示す節電アクションを実施する。

○空調（冷暖房）

- ・適温設定を徹底する。
- ・使用していないエリア（会議室等）の冷暖房を停止する。
- ・窓のブラインド、カーテン等を活用し室内の温度変化を抑制する。
- ・運転時間をその都度定める。
- ・エコスタイル（服装）を徹底する。

○照明

- ・日中の明るい時間帯には、可能な範囲で執務室の窓際の照明を消灯する。
- ・昼休み時間の消灯を徹底する。
- ・支障がない範囲で、廊下等を消灯する。
- ・給湯室やトイレ等では、室内に人がいないときの消灯を徹底する。
- ・会議室等では、使用していないときの消灯を徹底する。
- ・勤務時間外において、レイアウト上可能な範囲で残業者以外のところの照明を消灯する。

○パソコン、OA 機器

- ・退所時にはパソコンのACアダプターをコンセントから抜く等待機電力の消費を抑える対策をとる。
- ・長時間の離席時（概ね2時間以上）、操作をしないパソコンをシャットダウンする。
- ・長時間使用しないOA機器はコンセントを抜き待機電力の消費を抑える。

○エレベータ

- ・エレベータの利用を控え、できるだけ階段を利用する。

○電気製品

- ・待機電力の削減（シュレッダーなど電気製品の不使用时はコンセントを抜く）

○常時稼働の個別エアコン及びフリーザー

- ・常時稼働の個別エアコンの設定温度を夏季は原則 25℃以上、冬季は可能な限り低くするか停止する。また定期的なフィルター清掃を実施する。
- ・フリーザーの設定温度を必要以上に下げない。

2 残業の抑制及び定時退所の推進

- ・事務改善による定時退所を推進する。

3 来所者等への協力の呼びかけ

- ・本法人での取組みについて、来所者の理解と協力を求める。

4 廃棄物の発生抑制、リサイクル製品の 3R の推進

- ・詰替え商品を購入及びグリーン購入を推進する。
- ・マイ箸、マイボトル（水筒）を持参する。
- ・資源分別を徹底する。
- ・各種物品の再利用に努める。

5 環境汚染の未然防止

- ・排水検査を毎月実施する。
- ・法令及び規程等に基づき、微生物や化学物質の適正な管理を行う。

この方針は平成 30 年 2 月 1 4 日より実施する。